「令和4年度 学力向上の手引き」活用のために

「令和４年度 学力向上の手引き」とは

・令和４年度の全国学力・学習状況調査に関する分析や活用の仕方を分かりやすく記載しています。

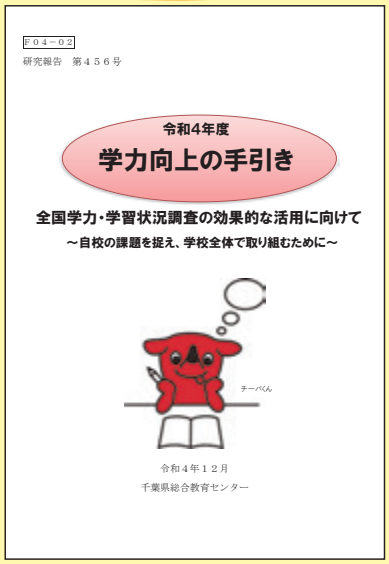
・学校現場での授業改善や学校経営の改善に役立つ資料が満載です。

ぜひ、ご活用ください！

本リーフレットは

「学力向上の手引き」の
・概要
・学校現場での活用の仕方

について紹介します。



子どもたちの
学力向上のために
全国学力・学習状況調査の分析や活用
をより一層進めましょう！

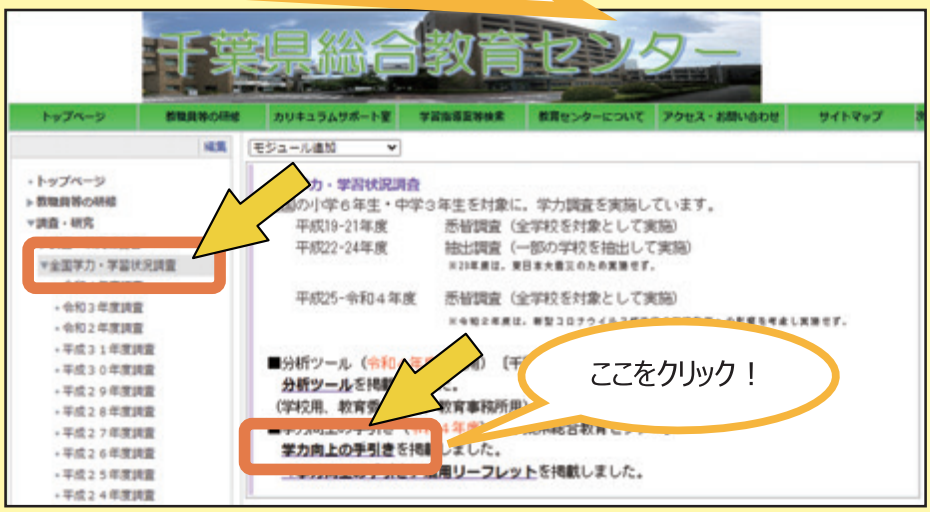
☜「令和４年度　学力向上の手引き」表紙

まずは**「令和４年度　学力向上の手引き」をダウンロード！**

千葉県総合教育センターWeb サイト

https://www.ice.or.jp/nc/kenkyu/gakuryoku/

二次元バーコードから
アクセスしてください。
データはタブレット等に
保存できます。



ここをクリック！

ダウンロードして
学校全体で共有し、
活用してください。

千葉県総合教育センター　学力向上の手引き　検索

キーワード検索も！

「チェックシート」で活用の仕方や取り組んだことをチェック！

調査問題や調査結果を
どのように活用したら
学力向上につながるのか、
分からないのですが…。

「令和４年度　学力向上の手引き」
p.8 を見てください。
管理職、教務主任・研究主任等、担任や専科の方等に向けて、立場別の取組例を示した
チェックシートを掲載しました！
学校や児童生徒の実態に応じて、できることから取り組んでください。

「令和４年　学力向上の手引き」Ｐ.８　「チェックシート」

全国学力・学習状況調査を活用した学力向上のための取組についてのチェックシート例

全国学力・学習状況調査を活用した学力向上の取組を進めるためのチェックシートを例示します。
各学校の実態に合わせて活用してください。

No.	チェック項目	☑
管理職としての取組		
1	調査結果の周知や改善の取組を学校全体で行うことができるような体制を整えた。	
2	教務主任や研究主任等と連携し、調査結果を職員全体で確認させ、課題を明確にした。	
3	教育計画の作成に当たり、これまでの調査内容や結果を参考にした。	
4	教科に関する調査と質問紙の調査結果を学校経営の指針や校内研修の主題検討の参考にした。	
5	保護者や地域の学校教育活動への協力・連携を進めるため、調査結果の公表を行った。	
6	保護者や地域と協力・連携して、調査結果を活用した取組を行った。	
教務主任、研究主任等としての取組		
7	文部科学省からの結果データを速やかにダウンロードし、保管している。	
8	分析ツールを総セWebサイトからダウンロードし、４種類の分析シートを作成した。	
9	印刷した分析シートを、活用しやすいように保管している。	
10	教科に関する調査の自校の結果について、職員全体に周知した。	
11	質問紙調査の自校の結果について、職員全体に周知した。	
12	報告書や授業アイディア例など、文部科学省からの資料を職員全体に周知した。	
13	調査や結果に関連するデータをファイルし、職員全体が活用できるようにした。	
14	校内研修等で、分析シートを活用して職員全体で分析できるようにした。	
全職員に関わる取組		
15	教科に関する調査の問題を解き、内容と出題の意図を確認した。	
16	調査後に、児童生徒の解答を確認または採点し、実態を把握した。	
17	校内研修等で、問題及び解説資料を基に指導改善のための話合いを行った。（結果提供前）	
18	教科に関する調査の自校の結果を確認した。	
19	質問紙調査の内容と自校の結果を確認した。	
20	S-P表を活用し、実態に即した指導方法の検討をした。	
21	分析シートの活用の仕方について、「令和４年度　学力向上の手引き」を参考にした。	
22	「教科・質問紙分析シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
23	「経年分析シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
24	「誤答分析シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
25	「クロス集計シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
26	教科指導について関係する学年間や教科担当で課題を共有した。	
27	教科指導について検討した改善方策を基に授業を実践した。	
28	質問紙調査の結果を基に課題を検討し、授業改善の方策を検討した。	
29	質問紙調査の結果を基に課題を検討し、学級経営の改善方策を検討した。	
30	検討した改善方策を基にした授業実践を評価し、改善点を話し合った。	
31	分析シートを基に学校全体の改善方策と実践について振り返り、次年度の取組に生かした。	
32	過去の調査問題を活用し、児童生徒の実態把握を行った。	
33	調査問題を、校内研修や授業づくり、または授業を行う中で活用している。	
34	調査問題を、教材やテスト、児童生徒への課題作成の参考にしている。	
35	「令和４年度　学力向上の手引き」を指導改善の参考にした。	
36	「思考し、表現する力」を高める「実践モデルプログラム」を基に指導改善を行った。	
37	「学力向上通信　COMPASS」を指導改善の参考にした。	

千葉県総合教育センター　学力調査部　令和４年度作成

【管理職としての取組】

・校内体制について
・外部との連携について
など

【教務主任、研究主任等としての取組】

・結果の周知について
・資料の作成・整理と保管について
・分析シートの作成について
・校内研修について
など

【全職員に関わる取組】

・調査内容の把握について
・分析シートの活用について
・ＰＤＣＡサイクルの確立について
・各種資料の活用について
など

自校の児童生徒の実態や学校の状況に応じて、調査結果を生かした学力向上のための取組を、効率よく、効果的に行っていきましょう！

千葉県総合教育センター学力調査部　☎043－276-1238

活用を進めるための取組（例）　～「手引き」トピックから～

全国調査の分析・活用に係る校内体制の整備

教育事務所　市町村教育委員会

報告・相談 ←

→ 指導・助言

学　校

校長・教頭
- ○調査結果を活用した学校改善の検討

教務主任
- ○文科省データの出力と、県のツールによる**分析シートの出力**
- ○自校の結果概況について管理職へ報告

研究主任
- ○分析シートや文科省データを活用した**校内研修の企画・運営**

全 教 員
- ○分析シートに指導改善に向けた改善策等を記入
  - → 校内研修で協議しブラッシュアップ
  - → **指導改善案に基づく授業実践**
  - → 実践の**検証とさらなる改善プランの検討**

※あくまでモデルであり、学校や地域の実態に応じた最適な体制整備が重要

管理職の取組例
その１
【校内体制整備編】
体制を整え、
役割を明確にする

管理職の取組例
その２
【学校経営編】
外部との連携により、
学力向上を進める

地域・家庭との連携や学校改善に向けた活用例

【活用例①】
各種たよりや、懇談会等で自校の結果について情報共有（発信）
↓
「課題」を明確化し、改善方策について、地域や家庭と共通理解を図る

【活用例②】
学校評価の指標として質問紙調査の質問項目を活用
↓
学校改善のために継続的な定量的評価を行う

教務主任・研究主任等の取組例
【校内研修編】
結果提供後、学校全体で
取り組む体制を整える

学校全体の取組例
【記述力向上編】
「記述」の力を付けるために、学校全体で
取り組むアイディアを校内研修で検討する

結果分析の流れ

❶ 分析シートの作成

〈教務主任〉

❷ 報告・連絡・相談

〈教務主任⇒管理職〉
〈教務主任⇒研究主任〉

〈管理職等⇒教育委員会〉

❸ 協議・研修

〈研究主任等⇒学校全体〉
〈教育委員会⇒学校全体〉

記述の力を付けるための取組例

教育課程
- ・ミニ学習タイム（計画的）
- ・振り返りテスト（週、月単位等）

環境整備
- ・学校図書館整備
- ・学習掲示物作成（記述の仕方等）
- ・ＩＣＴ環境整備

家庭との連携
- ・「家庭学習のすすめ」サイト
- ・ちばっ子チャレンジ100
- ・「ちばのやる気」学習ガイド

指導法改善
- ・教科横断的な指導
- ・個別指導
- ・少人数指導
- ・「実践モデルプログラム」の活用

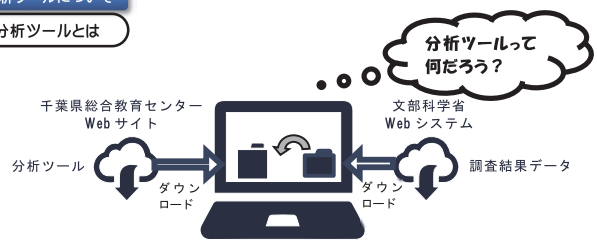
【チーム学校で学力向上に取り組むために】

全国学力・学習状況調査は、一部の教科担当・一部の学年担当のためのものではなく、**学校全体で指導改善に取り組む**ためのものです。仕組みを整え、調査結果を活用し、チーム学校で学力向上に取り組みましょう！

Ⅲ　千葉県の分析ツールの活用について

1　分析ツールについて

(1) 分析ツールとは



《分析ツールとは》
文部科学省から提供される調査結果データを簡単な操作で可視化して、全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく成果と、課題の実態把握や指導改善サイクルの確立を支援する自動計算ソフトです。

右側の４つのシートを作成して分析に活用します！

分析ツールの構成

3種のツール	4つのシート
教科・質問紙分析	教科・質問紙分析
	経年分析
誤答分析	誤答分析
クロス集計	クロス集計

各シートは両面印刷を行うことによって、1 枚で印刷されます。指導改善を行うには、この４つの分析シートを活用することが大切です。

・校内研修での課題の検討
・授業の改善方策の検討
などに分析シートを活用し、学校全体で共有すれば、指導改善につながります！

①職員会議や校内研修での活用

☆シートに記入
・自校の特徴や現状分析
・改善目標や方策
・検証方法
○Ｐ【計画、立案】

→

☆印刷
・教科・質問紙分析シート
・経年分析シート
○Ｄ【実践】に活用

→

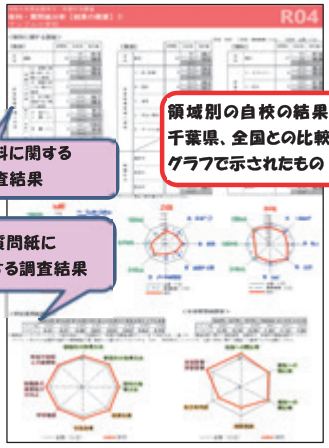
☆全職員で検討
・実践内容について分析
・成果や課題を共有
・教育活動を改善
○Ｃ【評価】とＡ【改善】

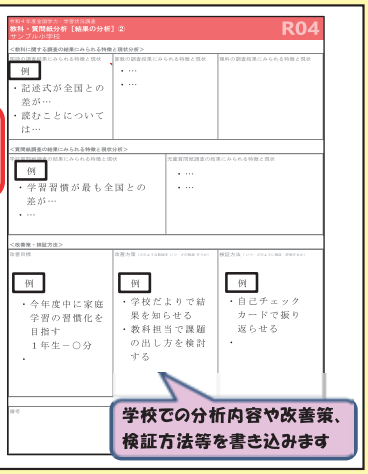
②授業の指導改善での活用

☆誤答分析シート
・児童生徒のつまずきを把握
・効果的な手立て
⇩
・調査結果を授業に反映
→ＰＤＣＡサイクルの確立

☆クロス集計シート
・児童生徒の実態把握（学力、生活習慣）
⇩
・調査結果から課題を捉え、改善の手がかりを見つける
→学校経営に反映

「教科・質問紙分析シート」
左が表面、右が裏面です。
Ａ４の両面印刷ができます。





Ⅳ　質問紙調査回答結果集計データ

令和４年度全国学力・学習状況調査　　小学校・中学校調査

回答結果集計　［児童・生徒質問紙］

千葉県ー児童・生徒（公立）

・以下の集計値は、４月１９日に実施した調査の結果を集計した値である。

千葉県（公立）	小学校　※実施学校数752校				中学校　※実施学校数373校			
質問番号	（1）～（6 9）	（国1）（国2）	（算1）（算2）	（理1）（理2）	（1）～（6 9）	（国1）（国2）	（数1）（数2）	（理1）（理2）
回答児童数	48, 465	48, 451	48, 465	44, 395	44, 395	44, 396	44, 402	44, 411

各校種の１段目：千葉県(公立)の児童・生徒数の割合(%)
２段目：全　国(公立)の児童・生徒数の割合(%)

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの』である。

質問番号	質問事項	校種	千葉県/全国	選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答	肯定的回答	全国との差	選択肢　凡例
（1）小	朝食を毎日食べていますか	小学校	千葉	84.5	9.6	4.2	1.7						0.0	0.0	94.1	−0.3	1. している 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	84.9	9.5	4.1	1.4						0.0	0.0	94.4		
（1）中		中学校	千葉	78.0	12.8	5.9	3.2						0.0	0.1	90.8	−1.1	
			全国	79.9	12.0	5.4	2.7						0.0	0.0	91.9		
（2）小	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	小学校	千葉	39.8	40.3	15.9	3.8						0.0	0.0	80.1	−1.4	1. している 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	40.7	40.8	15.0	3.4						0.0	0.0	81.5		
（2）中		中学校	千葉	34.9	42.8	17.7	4.5						0.0	0.1	77.7	−2.2	
			全国	37.0	42.9	16.3	3.7						0.0	0.0	79.9		

文部科学省からの結果データをさらに見やすく、比較しやすくしています！

小学校と中学校を並べているので比較しやすい

全国との差が数値で示されていて分かりやすい

各設問の選択肢が表示されていて分かりやすい

千葉県は、全国と比較して調査問題や調査結果の学校全体での活用が低い状況です。
調査問題や調査結果には、指導改善や学校経営の改善のヒントがたくさんあります。
これらを有効に活用し、子どもたちの学力向上に役立てていきましょう。

こんなときは「手引き」のこの章を開いてみましょう！

令和４年度の
調査はどのように
行われたの？

令和４年度の
調査問題の特徴は？

「Ⅰ　全国学力・学習状況調査の概要」へ

令和４年度の
千葉県の結果は
どうだったの？

教科に関する調査の
分析をしたい

校内研修で調査結果の
分析をしたい

質問紙調査の回答状況に
ついて分析し、自校や
千葉県の課題を知りたい

「Ⅱ　令和４年度　千葉県の調査結果」へ

分析シートって何？
どのように活用するの？

分析ツールと
分析シートの
違いが分からない

校内研修で分析シートを
活用したい

「Ⅲ　千葉県の分析ツールの活用について」へ

知りたいこと、
やりたいことに
合わせて
必要なページを
見ていきましょう！

質問紙調査の
内容を知りたい

質問紙調査から
分かる千葉県の
課題は何だろう？

小学校と中学校
の状況を比べて
分析したい

「Ⅳ　質問紙調査回答結果集計データ」へ

～目次から～

Ⅰ　全国学力・学習状況調査の概要
1　令和４年度調査の概要
2　令和４年度の具体的な設問例
3　令和５年度調査の予定

Ⅱ　令和４年度千葉県の調査結果
1　結果の概要
（１）教科に関する調査
（２）質問紙調査
2　結果の詳細
（１）教科に関する調査
①小学校国語
②中学校国語
③小学校算数
④中学校数学
⑤小学校理科
⑥中学校理科
（２）質問紙調査
①授業改善に関する取組状況
②学習時間の状況
③ゲームやＳＮＳ・動画視聴の状況
④ＩＣＴを活用した学習状況
⑤記述の指導に関する状況
⑥探究型の指導に関する状況
⑦全国学力・学習状況調査の結果の活用

Ⅲ　千葉県の分析ツールの活用について
1　分析ツールについて
（１）分析ツールとは
（２）分析ツールの入手方法
（３）分析ツールの活用場面
2　４つの分析シートの活用について
（１）教科・質問紙分析シート
（２）経年分析シート
（３）誤答分析シート
（４）クロス集計シート

Ⅳ　質問紙調査回答結果集計データ
1　児童生徒質問紙調査
2　学校質問紙調査

Ⅰ　全国学力・学習状況調査の概要

調査の目的や
令和４年度の
実施状況

令和４年度の
代表的な設問例

(1) 調査の目的　※文部科学省実施要領引用

- 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することによって、国や全ての教育委員会における教育施策の成果と課題を分析し、その改善を図る
- 学校における個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てる
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査実施日　令和４年４月１９日（火）

(3) 本県の実施状況

公立小学校	７５２校	第６学年（６４５校	第６学年）
公立中学校	３７３校	第３学年（３１９校	第３学年）
合　　計	１，１２５校	（９６４校）	

※義務教育学校・特別支援学校を含む。また、（　）内は千葉市を除いた数である。

(2) 小学校算数　【変化と関係】二つの数量の関係について考察すること（大問２　果汁の割合）

（３）　数量（飲み物の量）が変わっても割合（飲み物の濃さ）は変わらないことを理解しているかを問う問題

果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ。

250 mL は、500 mL の $\frac{1}{2}$ の量です。
このとき、　ア

1　飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。　…67.7%
2　飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は２倍になります。　…9.2%
3　飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

（誤答例の分析と課題）
「１」と解答した児童は、果汁が20%含まれている飲み物を二人で等しく分けたとき、**飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、同様に果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になると誤って捉えている**と考えられる。

本県正答率:20.5%

指導改善のポイント

日常の場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるように指導することが大切です。

Ⅱ　令和４年度　千葉県の調査結果

令和４年度の
千葉県の調査結果
（教科に関する調査）

学校種別・教科別の
千葉県の結果の詳細
（領域・問題形式別
のチャート図）

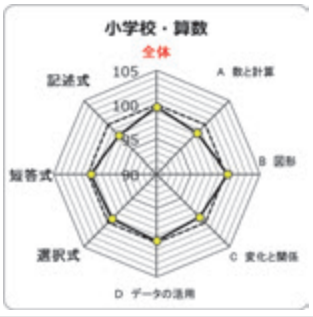
①令和4年度教科別調査結果（平均正答数及び平均正答率）

※平均正答数及び平均正答率の　上段（白）は、千葉県（千葉市を含む）、（　）内は、千葉県（千葉市を除く）
下段（網掛け）は、全国（公立）を示す。

小学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語〈全１４問〉	９．２（９．２）	６６（６６）
	９．２	６５．６
算数〈全１６問〉	１０．０（１０．０）	６３（６２）
	１０．１	６３．２
理科〈全１７問〉	１０．７（１０．６）	６３（６２）
	１０．８	６３．３

中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語〈全１４問〉	９．５（９．５）	６８（６８）
	９．７	６９．０
数学〈全１６問〉	７．０（７．０）	５０（５０）
	７．２	５１．４
理科〈全２１問〉	１０．２（１０．１）	４８（４８）
	１０．４	４９．３

＊文部科学省からの発表に基づき、平成２８年度からは、県の平均正答率について、小数点以下を四捨五入した結果を示す。



小学校・算数		
	全体(活用)	99.7
領域	A　数と計算	98.3
	B　図形	100.3
	C　測定	
	C　変化と関係	98.8
	D　データの活用	99.7
問題形式	選択式	99.2
	短答式	99.6
	記述式	97.8

教科に関する調査問題のうち、
課題の見られる問題を取り上げ、
分析しやすくまとめました。
自校の結果を記入して
改善策を検討しましょう。

2(3)　（趣旨）示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる

（学習指導要領）〔第５学年〕Ｃ　変化と関係 (3) ア（ア）

(3)　りんごの果汁が 20 %ふくまれている飲み物が 500 mL あります。
この飲み物を２人で等しく分けると、１人分は 250 mL になります。
250 mL の飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250 mL は、500 mL の $\frac{1}{2}$ の量です。
このとき、　ア

上の ア にあてはまる文を、下の 1 から 3 までの中から１つ選んで、その番号を書きましょう。

1　飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
2　飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は２倍になります。
3　飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。　正答

全国と千葉県との比較

正答率（%）	
全　国	21.4
千葉県	20.5
自　校	

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう！

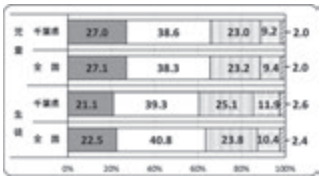
	解　答　類　型	反応率（%）
1	1　と解答しているもの 果汁が 20%含まれている飲み物を二人で等しく分けたとき、飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、同様に果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になると誤って捉えていると考えられる。	全　国 67.9 千葉県 68.8 自　校（　）
2	2　と解答しているもの 果汁が 20%含まれている飲み物を二人で等しく分けたとき、飲み物の量は $\frac{1}{2}$ になるが、果汁の割合は２倍になると誤って捉えていると考えられる。	全　国 9.3 千葉県 9.1 自　校（　）

①主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況　児童 38～44 ／ 生徒 38～44　学校 23～32

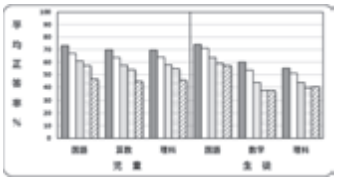
【児童生徒質問紙３８】前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

発表していた　どちらかといえば、発表していた　どちらかといえば、発表していなかった　発表していなかった　考えを発表する機会はなかった

〈Ｒ４　全国との比較〉



〈Ｒ４　回答結果と正答率の関連_本県〉



肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。　（自校…　　）
肯定的回答をしている児童生徒ほど、正答率が高い傾向にある。　（自校…　　）

質問紙調査について、県として
課題のあるものや、今日的な教育課題を
取り上げています。
千葉県の状況を把握し、自校の結果と
比較して分析を行ってみましょう。